

やらまいか〜ふじの麓ででっかい絆〜

JR連合青年・女性委員会は、2024年5月26日〜27日にかけて、静岡県御殿場市において第28回ユースラリーを開催した。JR連合東海地方協議会青年・女性委員会を準備機関とし、参加者が楽しめるユースラリーの準備を担った。全国から総勢90人を超える青年・女性組合員が静岡の地に集い、JR連合ユースならではの交流を図った。

北海道・東日本・貨物の仲間を交え レールのつながりを再認識

1日目の三島駅集合場面では、緊張と期待に満ちた表情が並んだ。バスで会場に向け出発し、車内では、事務局が作成したユースラリーの紹介動画を鑑賞しながら移動。到着後、開会式とアイスブレイクによって、打ち解けた参加者は、チーム毎に同施設内で、いちご狩りやチェックポイントでのミニゲーム、フォトラリーなどのレクリエーションを通して、交流を深めた。

大交流会では、深めた絆を活かし、チームの仲間以外にも環を広げ、さらに熱い親睦を深めた。

2日目は、学習会を開催。JR連合相良夏樹組織局長より、「JR連合の運動」―青年・女性委員

会に期待すること」などについて

講義を受け、JR連合運動に青年・女性委員会からも積極的に参加していく重要性を再認識した。その後、チーム毎に「JR7社の福利厚生制度の利点」「青女の意義・魅力」「青女組合員への声かけ・世話役の今後の展望」「JR連合に求めるもの」についてディスカッションを行い、自社に取り入れるきっかけにしたい、青女役員としての世話役活動をもっと活性化したいなどの前向きな意見が相次いだ。

閉会式では、サプライズで用意した、ユースラリー中の写真をつないだムービーが上映され、濃密で充実した2日間を振り返った。



参加者からは、また絶対に参加したい、JR連合以外の他労組が多数を占める現状を何とかしたいと思ったなどの声寄せられた。

JR連合青年・女性委員会は、引き続き、若い組合員にとって魅力的なJR連合運動を内外に向けて発信していく。

